

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 22 年 3 月 18 日 (2010.3.18)

【公開番号】特開 2009-177222 (P2009-177222A)
 【公開日】平成 21 年 8 月 6 日 (2009.8.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-031
 【出願番号】特願 2009-119101 (P2009-119101)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 31/042 (2006.01)

H 0 1 L 31/04 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 31/04 C

H 0 1 L 31/04 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 2 月 2 日 (2010.2.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数のセルストリングを備えるセルモジュールを備え、前記セルストリングは、コンタクトラインを通じて互いに直列接続された複数のセルを備え、

前記セルは、表面電極、複数の光電変換層及び裏面電極をこの順に重ねて備え、前記コンタクトラインは、隣接する 2 つの前記セルのうちの一方の表面電極と他方の裏面電極とを電氣的に接続し、

前記セルストリングは、各セルストリングで発生した電流が互いに流入可能なように電氣的に接続され、

光源：キセノンランプ、放射照度： $100\text{ mW}/\text{cm}^2$ 、AM：1.5、温度：25 という条件下における、前記セルモジュールの出力を $P\text{ (W)}$ 、前記セルストリングの出力を $P_s\text{ (W)}$ 、前記コンタクトラインの面積を $S_c\text{ (cm}^2\text{)}$ としたときに、 $(P - P_s)/S_c$ が $1\text{ (kW}/\text{cm}^2\text{)}$ 以上 $10.7\text{ (kW}/\text{cm}^2\text{)}$ 以下であり、 P が 90 W 以上 160 W 以下であり、

P_s が 30 W 以下であり、前記セルストリング中の各セルの RB 電流値は $0.019\text{ mA}/\text{cm}^2$ 以上 $6.44\text{ mA}/\text{cm}^2$ 以下であることを特徴とする薄膜太陽電池モジュール。

【請求項 2】

前記コンタクトラインは、幅が $40\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $200\text{ }\mu\text{m}$ 以下である請求項 1 に記載の薄膜太陽電池モジュール。

【請求項 3】

前記表面電極は、 SnO_2 を含む材料からなる透明導電膜からなり、

前記裏面電極は、透明導電膜と金属膜の積層構造を有する請求項 1 または 2 に記載の薄膜太陽電池モジュール。